

京都大学医学部附属病院 2021年度第1回医療安全監査報告書

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会規程第2条第1項に基づき監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。なお、今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、緊急事態宣言が発出されている最中であることを鑑み、オンラインによる開催としました。

1. 監査の方法

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会規程第2条第1項に基づき、京都大学医学部附属病院における医療安全に係る業務の状況について、病院長、医療安全管理部部長等から説明及び資料の提出、閲覧を実施し、質疑応答等の方法によって下記の監査委員が監査を実施しました。

委員長	山口 育子(認定NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長)
委員	伊藤 英樹 (広島大学病院医療安全管理部部長)
委員	佐和 貞治 (京都府立医科大学附属病院医療安全推進部部長)
委員	平野 哲郎 (立命館大学法科大学院教授)
委員	潮見 佳男 (京都大学副学長)

2. 監査の実施日

2021年8月23日(月) 15:00~17:30

3. 監査実施事項

<審議事項>

- (1) 医療事故対応を踏まえた医療安全管理体制の検証
- (2) 医療安全管理体制の改善に係る取組み

<報告事項>

- (1) 医療安全管理部に求められる業務と現状
- (2) 現時点における主な統計データ等

4. 監査の結果

審議事項(1)については、2つの事例に対する詳細な内容と対応についての

説明がなされ、医療安全のプロセスと改善に係る取り組みが適切であるか検証をおこなったところ、すべて適切であると判断されました。特に、1例目は京大病院側より積極的に報告、調査し、再発防止策を講じた姿勢について高く評価されました。

審議事項（2）については、次の8項目について病院側から説明があり、その後質疑応答を踏まえながら審議しました。

- 1) 入院患者の転倒・転落
- 2) 患者の誤認防止
- 3) 患者受け持ち漏れ
- 4) 退院時間関連エラー
- 5) 画像診断報告書の既読管理
- 6) 説明文書の整備状況
- 7) 手術記録の作成管理
- 8) DPC に関して

1) の入院患者の転倒・転落については、入院患者に見てもらうために作成されたビデオを視聴。わかりやすい内容であると評価が高く、もっと広く視聴してもらう工夫をするように委員から意見が出されました。

8項目の取り組みについて適切であるか検証をおこなったところ、すべて適切であると判断されました。

報告事項（1）については、次の2項目について報告があり、質疑応答をおこないました。

- 1) 院内ラウンド評価の実施
- 2) 新規発生医事例報告

続いて、報告事項（2）については、次の4項目のデータの報告がありました。

- 1) インシデントレポート報告数（2020年度・2021年4月～7月）
- 2) 死亡患者数（2020年度、2021年4月～6月）
- 3) インフォームド・コンセント患者アンケート集計（2021年1月～3月）
- 4) 医療安全・院内感染対策に関する講習会部署別一覧（2020年度）

以上

2021年10月12日

国立大学法人京都大学医療安全監査委員会
委員長 山口 育子